




報道発表資料の配付日時 3月18日(木) 10時00分

発表項目 (行事名)	令和2年度北海道ゼロ・エミ大賞について																	
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																
		発表場所																
概要	<p>廃棄物等の発生抑制、二酸化炭素の排出抑制等に関する優良な取組を行っている事業者を表彰する「北海道ゼロ・エミ大賞(北海道知事表彰)」の今年度の受賞者について、次のとおり決定しましたのでお知らせします。 なお、表彰式は次のとおり行います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 受賞者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>賞区分</th> <th>受賞事業所</th> <th>取組名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大賞</td> <td>ヨコハマタイヤリトレッド (株)北海道事業所(苫小牧市)</td> <td>使用済みタイヤの循環的な利用と二酸化炭素削減</td> </tr> <tr> <td>(株)菅原組 (函館市)</td> <td>船舶内蓄電池システムを活用した二酸化炭素排出量削減の取組</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">優秀賞</td> <td>(株)イトイグループ ホールディングス(士別市)</td> <td>C L T工法による新社屋建築及び木質バイオマスボイラーの設置</td> </tr> <tr> <td>(株)F・K (北見市)</td> <td>国内初C L T建築による積雪寒冷地型Z E B社屋の実現</td> </tr> <tr> <td>(株)遠藤建築アトリエ (札幌市)</td> <td>木材の生産から関わり、道産木材を利用した社屋の建築</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 表彰式</p> <p>(1)日時 令和3年(2021年)3月25日(木) 14:00から</p> <p>(2)会場 TKPビジネスセンター赤レンガ前 5階 ラベンダー (札幌市中央区北4条西6丁目1番地 毎日札幌会館5F)</p> <p>(3)贈呈者 環境生活部環境局気候変動対策担当局長 ※表彰式はZOOMウェビナーでライブ配信します。 (申込不要。先着100名まで) <a href="https://zoom.us/j/92489576990?pwd=N111RTM0SFUyNjdwMXBGNEJ5c2RlR09">https://zoom.us/j/92489576990?pwd=N111RTM0SFUyNjdwMXBGNEJ5c2RlR09</a></p> 			賞区分	受賞事業所	取組名	大賞	ヨコハマタイヤリトレッド (株)北海道事業所(苫小牧市)	使用済みタイヤの循環的な利用と二酸化炭素削減	(株)菅原組 (函館市)	船舶内蓄電池システムを活用した二酸化炭素排出量削減の取組	優秀賞	(株)イトイグループ ホールディングス(士別市)	C L T工法による新社屋建築及び木質バイオマスボイラーの設置	(株)F・K (北見市)	国内初C L T建築による積雪寒冷地型Z E B社屋の実現	(株)遠藤建築アトリエ (札幌市)	木材の生産から関わり、道産木材を利用した社屋の建築
賞区分	受賞事業所	取組名																
大賞	ヨコハマタイヤリトレッド (株)北海道事業所(苫小牧市)	使用済みタイヤの循環的な利用と二酸化炭素削減																
	(株)菅原組 (函館市)	船舶内蓄電池システムを活用した二酸化炭素排出量削減の取組																
優秀賞	(株)イトイグループ ホールディングス(士別市)	C L T工法による新社屋建築及び木質バイオマスボイラーの設置																
	(株)F・K (北見市)	国内初C L T建築による積雪寒冷地型Z E B社屋の実現																
	(株)遠藤建築アトリエ (札幌市)	木材の生産から関わり、道産木材を利用した社屋の建築																
参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受賞取組の概要(別紙1のとおり)</li> <li>・北海道ゼロ・エミ大賞の概要(別紙2のとおり)</li> <li>・北海道ゼロ・エミ大賞のwebページ(北海道環境生活部環境局気候変動対策課) <a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/tot/re/zeroemi/index.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/tot/re/zeroemi/index.htm</a></li> </ul>																	
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○受賞者の取組は、道内の事業所の模範となる取組です。積極的な報道をお願いします。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、風邪のような症状がある場合は、取材をご遠慮いただくとともに、会場へ入室する際には、受付で手指消毒、マスクの着用をお願いします。</p>																	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク																	
担当(連絡先)	<p>環境生活部環境局気候変動対策課 民間連携担当課長 石動 貴子 主幹(民間連携) 岡田 朋子 TEL: 011-204-5197(ダイヤルイン) 内線 24-309・24-305</p>																	



北海道

令和2年度

# 北海道ゼロ・エミ大賞

## 大 賞

受賞事業所	<p>ヨコハマタイヤリトレッド株式会社 北海道事業所          (取締役常務兼北海道事業所長 松村 智之)          住所：苫小牧市宇植苗162-2 電話：0144-58-2411</p>
取組名	<p>使用済みタイヤの循環的な利用と二酸化炭素削減          開始時期：昭和48年(1973年)5月          継続期間：47年(申請時起算)</p>
取組内容	<p>摩耗した使用済みタイヤのトレッド(接地)面を張り替える「リトレッドタイヤ(更生タイヤ)」の製造によるリデュースの取組。製造・廃棄時におけるCO2排出量を新品に比べ64%削減、製造時のタイヤくず等もリサイクル業者と連携し、全量リサイクルしており、廃棄物のゼロエミッションを達成している。</p>
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和48年に販売開始以来、長年渡り、廃棄物のリデュース及び二酸化炭素の排出抑制に貢献している事業。</li> <li>また、タイヤ製造時のみならず、事業所から排出される廃棄物も、平成23年(2011年)から全量リサイクルしており、事業所として廃棄物のゼロエミッションを達成している点も評価。</li> </ul>

受賞事業所	<p>株式会社 菅原組 (代表取締役 菅原 修)          住所：函館市浅野町4番16号 電話：0138-44-3710</p>
取組名	<p>船舶内蓄電池システムを活用した二酸化炭素排出量削減          開始時期：平成29年(2017年)12月          継続期間：3年(申請時起算)</p>
取組内容	<p>海洋土木事業で使用する大型作業船に、作業時の余剰電力(発電はディーゼルエンジン(軽油))を回収・蓄電する蓄電池を導入し、停泊時は蓄電池の電力を使用することにより、エネルギー利用の効率化を図った。発電機の稼働(軽油の使用)を減らしたことにより、二酸化炭素の排出量を削減。</p>
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内でも珍しい作業船に蓄電池を導入した先進的な取組。</li> <li>エネルギー使用の平準化により、二酸化炭素の排出を抑制した取組であり、他の事業所の模範となる。</li> <li>また、BDFの活用実績や、地域における清掃活動・植樹等、多方面に渡る環境保全活動も評価。</li> </ul>

(裏面あり)

## 優 秀 賞

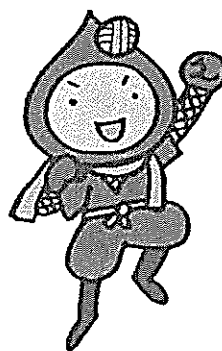
受賞事業所	株式会社 イトイグループホールディングス（代表取締役 菅原 大介） 住所：士別市朝日町中央 4527 番地 89 電話：0165-28-2600
取組名	CLT工法による新社屋建築及び木質バイオマスボイラーの設置 開始時期：令和元年(2019年)6月 継続期間：1年（申請時起算）
取組内容	新社屋を道産木材（トドマツ）を用いたCLT工法により建築。在来工法より多くの木材を使うことにより、プラスチック材の削減や、より多くの二酸化炭素の固定が図られる。さらに、暖房用のバイオマスボイラーも設置し、燃料には、グループ企業においてダム流木を破碎したチップを利用し、廃棄物及び二酸化炭素の排出量を削減している。
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新社屋建設にあたり、省エネ性に優れた道産木材のCLT工法を採用した先進的な取組。さらに、破碎したチップを燃料とするバイオマスボイラーを導入している点も評価。</li> <li>・社屋見学を通じた認知の拡大や、この取組を今後の事業に生かすことにより、CLT及びバイオマスエネルギーの普及に寄与することが期待される。</li> </ul>

受賞事業所	株式会社 F・K（代表取締役社長 船橋 悠太） 住所：北見市泉町 4 丁目 7-12 電話：0157-25-3085
取組名	国内初CLT建築による積雪寒冷地型ZEB社屋の実現 開始時期：令和元年(2019年)12月 継続期間：1年（申請時起算）
取組内容	新社屋を道産木材（カラマツ）を用いたCLT工法により建築。在来工法より多くの木材を使うことにより、プラスチック材の削減や、より多くの二酸化炭素の固定が図られる。さらに、太陽光発電及び地中熱利用等により国内初のCLT建築による積雪寒冷地型の「ZEB」を実現。（二酸化炭素のゼロエミッションを達成している。）
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新社屋建設にあたり、道産木材を用いたCLT工法を採用した先進的な取組。また、太陽光発電と地中熱利用等の設備も導入したことにより、ZEBを達成。（二酸化炭素のゼロエミッションを達成）</li> <li>・社屋見学を通じた認知の拡大や、この取組を今後の事業に生かすことにより、CLT及びZEBの普及に寄与することが期待される。</li> </ul>

受賞事業所	株式会社 遠藤建築アトリエ（代表取締役 遠藤 謙一良） 住所：札幌市中央区北4条西20丁目1-18 電話：011-644-0070
取組名	木材の生産から関わり、道産木材を利用した社屋の建築 開始時期：令和元年(2019年)10月 継続期間：1年（申請時起算）
取組内容	新社屋を全量道産材（エゾマツ等）を用い建築。木材の生成工程から関わるにより愛着が湧き、建築物の使用の長寿命化が図られる。さらに、建物内の空気の流れにより、効率的に室温をコントロールできる設計を行い、二酸化炭素の排出量を削減。
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新社屋建設にあたり、構造材に道産エゾマツを用いた珍しい取組で、床面に通気孔（スリット）を設け、空気の流れによる暖房の導入により、二酸化炭素の排出量を削減。</li> <li>・また、この取組を今後の事業に生かすことにより、二酸化炭素の吸収源となる林業の活性化に寄与されることが期待される。</li> </ul>

## 【 問い合わせ 】

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
北海道環境生活部環境局気候変動対策課民間連携担当  
TEL：011-204-5197（ダイヤルイン）



環境忍者 えこの助



北海道リサイクルイメージキャラクター

## 令和2年度 北海道ゼロ・エミ大賞の概要

### 1 制度概要

「北海道ゼロ・エミ大賞」は、道内に所在する事業所における、「廃棄物等」の発生・排出抑制及び「二酸化炭素」の排出抑制に関する取組が、他の事業所の模範となるものについて表彰する制度です。

### 2 表彰対象

次の取組を行う、優良であると認められる道内の事業所（本社所在地が道外であっても可）を表彰の対象とします。

#### ●事業所による取組

一事業所において、自ら行う廃棄物等の発生・排出抑制及び二酸化炭素の排出抑制に関する取組

例) 工場において、生産工程で生じる副産物を徹底的に再資源化

例) 農場において、家畜ふん尿のメタン発酵により生じる消化液を活用

例) 社屋改築時に、木造化と効率的なエネルギー循環システムを導入

#### ●地域の事業者連携による取組

例) 廃棄物等の排出事業者と利活用による事業者との減量化の取組

例) 熱利用をはじめ効率的なエネルギー利用の仕組みを構築するなど、二酸化炭素の排出抑制への取組

### 3 選考

受賞者については、有識者などで構成する「北海道ゼロ・エミ大賞選考懇談会」の意見を聴き、他の事業所への普及可能性、直接的な効果、独自性・先進性、継続性などについて評価した上で、道が決定します。

### 4 表彰等

#### (1) 表彰区分・表彰数

大賞：1件、優秀賞：3件 程度

※ 選考の結果により、表彰数が変更する場合があります。

#### (2) 表彰の方法

賞状と副賞を贈呈します。

#### (3) その他

・受賞した取組については、①表彰式の実施、②道 web ページでの公表、③普及啓発冊子「3Rハンドブック」での紹介、④国の表彰への推薦、などにより PR します。

・また、受賞した取組は「北海道グリーン・ビズ認定制度」の「創意あふれる取組部門」に認定され、金融機関での優遇融資などのメリットを受けられます。

北海道ゼロ・エミ大賞 受賞者・受賞取組一覧 (H17~R1)

年度	区分	受賞者名	受賞取組名
17	大賞	いすゞエンジン製造北海道㈱	機械工場の研磨くすの再生化によるゼロエミッションの達成
	優秀賞	ニセコ町	家畜糞尿、下水道汚泥等の堆肥化による循環型農業の確立
		㈱NTTドコモ北海道	すべてをリサイクルするゼロエミッションの取組
		イガリ建設㈱	極生緑化工法による建設廃棄物「すき取り土」の有効活用
		カムイ・エンジニアリング㈱	間伐材・廃プラスチック類を原料とした再生可能な建築資材の製造
18	大賞	㈱ラッキーピエログループ	ごみ40%削減及びマイ容器等の推進の取組
	優秀賞	㈱木の城たいせつ	北海道の木を活用した住宅生産における廃棄物ゼロの実践
		日本新薬㈱千歳合成工場	原薬製造における有害性の高い化学物質の使用量及び廃棄物の削減
		トヨタ自動車北海道㈱	「ゼロエミッション」への全社活動～(埋立廃棄物ゼロ化)
19	大賞	パナソニック電工帯広㈱	プラスチック成形における廃棄物の削減
	優秀賞	㈱町村農場	家畜排泄物のバイオガス発電と処理済排泄物の肥料化
		日産製パン㈱	廃プラスチック類の焼却を削減しゼロエミッションにチャレンジ
20	大賞	下川町森林組合	森林バイオマス利用の取組み
	優秀賞	㈱新生ゴム本社工場	廃タイヤの処理における廃棄物の削減
		環境開発工業㈱エレメント工場	エレメントカッター機による廃オイルフィルターのリサイクル化
		日本甜菜製糖㈱土別製糖所	高脱水ライムケーキの専用散布機による農地散布利用
21	大賞	道宗紙業㈱	再生紙製造過程で排出される副産物を環境資材として製品化
	優秀賞	サッポロビール㈱北海道工場	工場敷地内から排出される廃棄物・副産物の再資源化100%達成
		丸利伊丹車輛㈱	自動車解体作業において排出される廃棄物リサイクル率の向上
22	大賞	北洋大通りJV工事事務所	北洋大通センター新築工事のゼロエミッション化の取組
	優秀賞	津別単板協同組合	工場廃材のバイオマス資源としての利用
		北清企業㈱	廃石膏ボードリサイクルによるグラウンド用ライン引き粉の製造販売
		社会福祉法人清水旭山学園	食品残渣物(生ゴミ)の飼料化への取組
23	大賞	農事組合法人細澤牧場・㈱アレフ	牛ふん尿と生ごみの精製バイオガス化によるリサイクルループの取組
	優秀賞	㈱常呂町産業振興公社	ホタテの貝殻の加工処理による土壌改良資材化
		㈱大塚製薬工場釧路工場	ゼロエミッション達成活動「廃棄物の徹底した排出抑制と再資源化への取組」
		㈱山内組	建設現場から発生する産業廃棄物の再資源化
24	大賞	㈱札幌ドーム	お客さまと協同した資源循環の実現
	優秀賞	よしむら運送店	廃食油とバイオディーゼル精製によるゼロエミ化と循環型社会の構築
		越智建設㈱	石炭火力発電所から排出される石炭灰の大規模再資源化(88億円)
25	大賞	恵庭市	生ごみの分別によるごみの減量化とエネルギー利用
	優秀賞	生活協同組合コープさっぽろ	コープさっぽろエコセンターを中心とした循環型社会実現への貢献を目指した活動
26	大賞	京極発電所上部調整池JV工事事務所	希少動植物生息地域における廃棄物発生抑制および自然植生の保全等による環境負荷低減活動
	優秀賞	花本建設㈱	建設現場で発生した伐採木や伐根物の再生化による排出抑制
		北海道コカ・コーラボトリング㈱	札幌工場から排出される廃棄物の削減・副産物の再資源化100%
27	大賞	㈱きのとや	お菓子素材の有効活用等のゼロ・エミに向けた取組
	優秀賞	生活クラブ生活協同組合北海道	共同購入で使用する容器びんの回収・再利用
28	大賞	㈱清都組	3枚の廃材ペニヤの活用による廃棄物の削減
	優秀賞	山崎製パン㈱札幌工場	廃棄物のリサイクル目的別分別化によるゼロ・エミッションの達成
29	大賞		(該当無し)
	優秀賞	佐川急便㈱札幌北営業所	環境対応型梱包容器(オリコン)活用によるゼロ・エミッション
30	大賞	金滴酒造㈱	酒粕を活用した新商品開発による産廃排出量の完全削減
	優秀賞		(該当無し)
元	大賞	㈱北部	未利用資源のトドマツ枝葉を原料とする廃棄物ゼロプラントの運営
	優秀賞	㈱北海道スカラップ	ボイルホタテ貝殻の再資源化による廃棄物発生量削減の取組